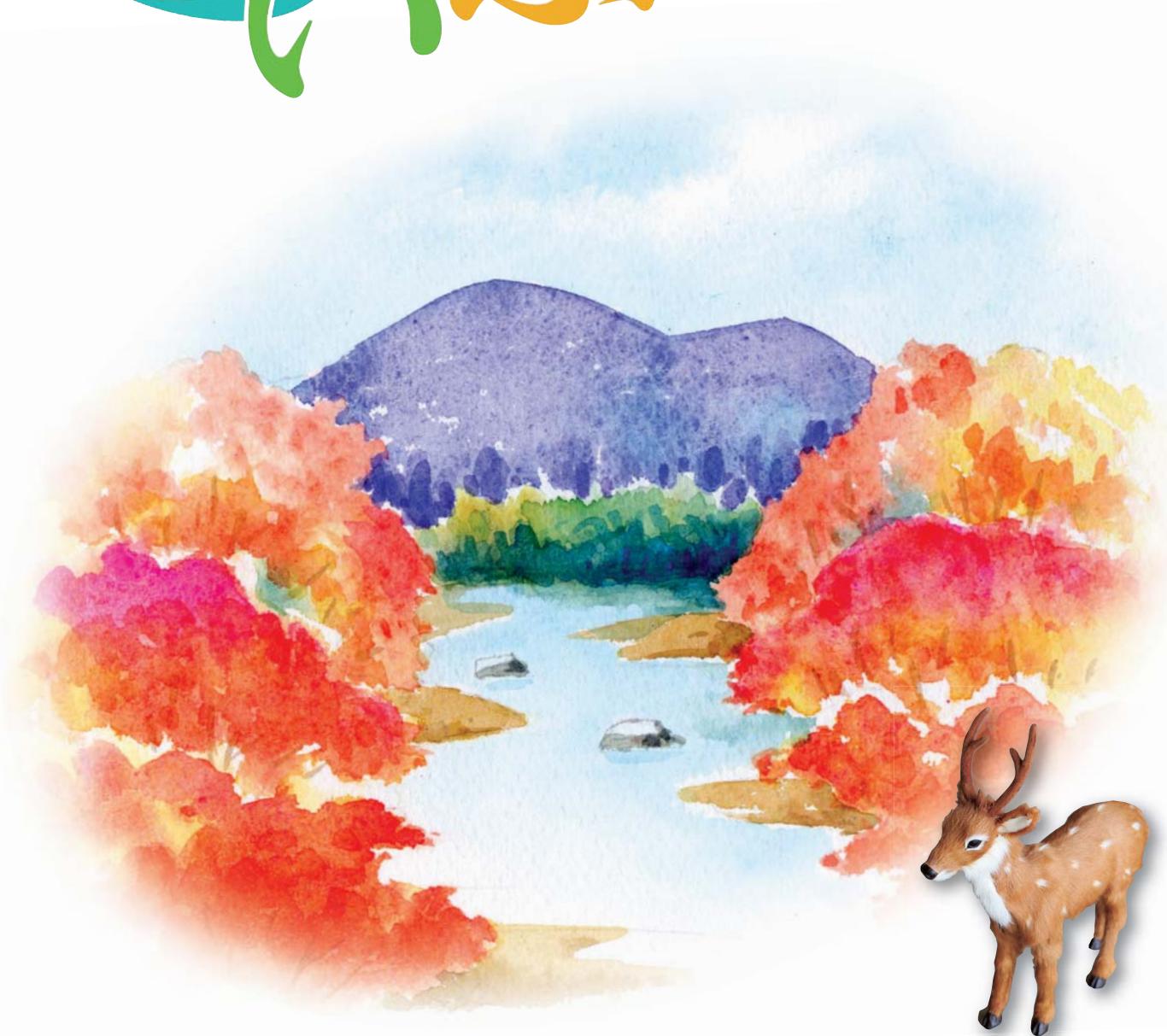




vol.19  
2012  
秋号



診療科  
見学note

MATSUSHITA  
REPORT

病院の  
なあにこれ？

産婦人科部

皮膚・排泄ケア認定看護師

PET/CT検査  
(ポジトロン断層撮影法／X線断層撮影法)

■ Closeup お仕事  
作業療法(OT:Occupational Therapy)  
の紹介

■ News Spot  
3Dエコー装置

■ news  
松下記念病院の理念・宣言

ライフサイクルを見つめながら上手につきあっていく  
お手伝いをするのが私たち産婦人科です。

ヒトは母体の中受精の瞬間から始まり、胎生期に内性器・外性器が形成され、そして出生、そこから人生も始まります。

新生児期・小児期には大きな変化はありませんが、女性の体は、初経を迎える思春期から、20-30代の性成熟期、そして更年期、高齢期と、ライフサイクルに応じて変化していきます。これは女性ホルモンのなせる技、そして時には様々なトラブルも引き起こします。



松本

前田

明石

本山

伊藤

### 診療方針

女性のライフサイクルの変化に合わせ、ニーズに応える医療を行い、患者さまに“松下記念病院に受診して良かった”と言っていただける診療を提供します。

### 婦人科診療

婦人科疾患(女性に関わる医療のほとんどの領域が診療対象です。)



陣痛室



2人部屋

#### ■子宮がん、卵巣がん等の悪性腫瘍

- 診断はMRI検査やPET-CT検査などの機器を活用し、放射線科医師や病理診断医師との連携による的確な診断をもとに婦人科腫瘍学会の治療ガイドラインに沿った手術療法のほか、進行期に応じて抗がん剤を用いた化学療法や放射線治療、さらに他科と連携した集学的治療を行い、患者さまのQOLの向上をめざします。
- どのような治療でもご本人やご家族と共に十分に説明したうえで治療方法の選択をしていただき実施します。

#### ■子宮筋腫、卵巣囊腫等の良性腫瘍

- 可能な限りの機能温存を心がけ、低侵襲の腹腔鏡下手術や病状に応じた腔式手術、開腹手術を行います。

#### ■骨盤内、外陰部の炎症性疾患、感染症、更年期・思春期等の内分泌疾患

- 感染症では、性感染症を始め、骨盤腹膜炎や骨盤内膿瘍に対して、抗菌化学療法、精査の上で手術療法などを行います。
- 内分泌疾患の治療にはそれぞれの方の年齢、疾患、体調に従ってホルモン剤などを用いた薬物療法を行います。重症度によっては、内科・心療内科などの専門各科と連携し、診療しています。

### 主な診療実績 (2011年度)

術名	件数
子宮付属器悪性腫瘍手術	17件
子宮悪性腫瘍手術	8件
子宮筋腫摘出術	55件
腹腔鏡下子宮筋腫摘出術	3件

## スタッフ紹介

部長 いとう りょうじ  
伊藤 良治

日本産科婦人科学会/産婦人科専門医  
日本がん治療認定医機構/がん治療認定医  
日本婦人科腫瘍学会/婦人科腫瘍専門医  
母体保護法指定医

2012年4月から勤務しています。外来、手術、分娩、ときに学会、講演会にと毎日走り回っています。スタッフと協力して、他科の医師と協調して、皆さまの「ありがとう」を支えに頑張っています。

主任 まえだ えいこ  
前田 英子

日本産科婦人科学会/産婦人科専門医  
母体保護法指定医

今まで様々な病院に勤務してきた経験を生かし、それぞれの患者さまに一番適切な医療を提供いたします。産婦人科という診療科は、女性にとっては心理的に抵抗が強くなりがちかもしれません、何か症状があるときはもちろん、悩みや疑問なども気軽にご相談ください。

主任 まつもと まりこ  
松本 真理子

日本産科婦人科学会/産婦人科専門医  
母体保護法指定医

患者さまに心から満足していただけるように、病気だけでなく人を診るホスピタリティにあふれた医療をめざしたいです。趣味は食べ歩きとビオラ、私のストレス解消源です。

医師 あかし きょうこ  
明石 京子

日本産科婦人科学会/産婦人科専門医

他科でも研修させていただきましたが、産婦人科ほど女性患者さまから女医が担当になることを歓迎される科はなかったように思います。取り扱う疾患は正常の妊娠から婦人科癌まで、治療も漢方から手術までと、狭いようで非常に奥行きのある科ですが、患者さま皆さんに合わせてサポートさせていただきます。

※センター勤務

もと やまと としひこ  
本山 敏彦

日本産科婦人科学会/産婦人科専門医  
母体保護法指定医

現在は健康管理センターと兼務していますが、産科、婦人科の臨床の魅力から離れられず病院の仕事にも関わっています。

※健康管理センター総合健診科 健診担当部長

## 産科診療

妊娠・出産・育児の主役はお母さんとお父さん、そして赤ちゃんです。

当科では安心して「お産をしていただけること」、そして「母子がともに健やかであること」を願つて診療しています。

正常分娩はできるかぎり自然分娩で行い、ご主人・ご家族の立ち会い分娩も実施しています。

### ■医学は進歩していますが、お産には予測できない危険が伴います。

●お産の進行中に異常が起きた場合は、状況をご説明したうえで24時間 夜間休日においても産婦人科および小児科、助産師、看護師が交替で診療にあたります。母子の状態に合わせて内科系各科、外科系各科、麻酔科、放射線科等と連携協力し、総合病院機能を活かして支援します。

●新生児の治療は小児科専門医や他科の専門医と合同で開始しています。

## 妊婦検診

●胎児異常が疑われる場合は、超音波断層検査、MRI検査等で精査を行い、出生前診断に努めます。胎児の状態に合わせて、新生児専門医との綿密な相談のうえで、最適な分娩時期、分娩方法を決定し、周産期母子医療センターと連携して診療を行います。

●毎週小児科医とのカンファレンス（周産期カンファレンス）を行い、情報の交換を行っています。

## 分娩実績 (2011年度)

正常分娩	374件
帝王切開術	94件



## 皮膚・排泄ケア認定看護師

### ■ 認定看護師とは—

●特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識があると認められた看護師のことを言います。

#### 【役割】

- ①専門分野における高度な看護実践
- ②患者さまやご家族および看護師に対する指導
- ③他の医療職者からの相談に応じる

2012年2月1日現在、認定看護師の分野は21種類に増え、全国で8,994人が活躍しています。



小林看護師

### ■ 皮膚・排泄ケア認定看護師とは—

●皮膚のトラブルや排泄（はいせつ）に関わるケアを専門としています。さまざまな病気によってストーマ（人工肛門・人工膀胱）を造設した方が、スキンケアや排泄が上手くできるようにサポートします。また「褥瘡（じょくそう）」と呼ばれる床ずれなど、さまざまな皮膚のトラブルに対するケアも行います。



ストーマ外来

### ■ ストーマ外来について—

●ストーマ外来では、ストーマを造設した方が手術後も安心して日常生活が送れるようにサポートしています（毎週木曜日・完全予約制）。

**【内容】**ストーマを造設する方の手術前オリエンテーション、ストーマの位置決め、ストーマケアの指導、ストーマ装具の紹介、退院後に生じた問題に対する対応、社会保障制度の説明など。



褥瘡対策チーム

### ■ 褥瘡管理者として

●入院患者さま全体の褥瘡管理を行っています。褥瘡が発生しやすい患者さまのところを回り、スタッフと一緒に予防するケアに努めています。また、褥瘡がある患者さまには早期治癒をめざして、医師・看護師・作業療法士・栄養士など多職種で構成された『褥瘡対策（じょくそうたいさく）チーム』で定期的に回診し、主治医や病棟看護師と一緒に治療にあたっています。

**【内容】**褥瘡予防マットレスの選択、治療方法の相談、皮膚の観察とスキンケア指導などの観察とスキンケアの指導など

### ■ 認定看護師として大切にしていること

●皮膚と排泄のことが専門ですが、傷や体の一部だけを見るのではなく、患者さま自身とその生活を見てケア方法を考えるようにしています。病棟・外来看護師と一緒に知識と技術を磨き、患者さまやご家族が安心できるケアを提供したいと思います。

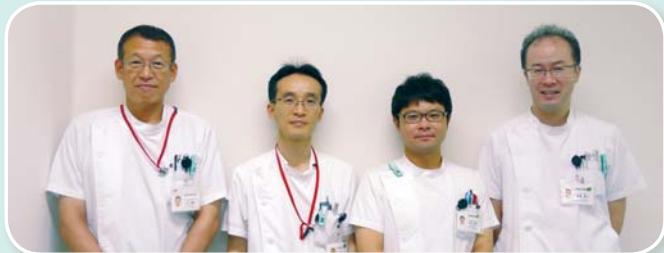
# PET/CT検査（ポジトロン断層撮影法／X線断層撮影法）

病院  
の  
なあに  
これ？  
!

vol.3

安全 全に検査が受けられるように放射線の防護・管理と、  
検査について熟知した技師がサポートしています。

PET/CT担当技師



八木

馬庭

石本

鹿園

## PET/CT検査とは

P ositron Emission Tomography/Computed Tomographyの略です。ポジトロン（陽電子）という放射線を出す物質（放射性同位元素）を含んだくすりを注射し、そこから出る放射線をPET装置で検出することによって、くすりの体内分布を画像化して病気を診断する検査法で、生体機能の「はたらき」を画像化します。一方X線CT（X線断層撮影法）は、身体の外からX線をあてて通り抜けたX線を測定し、X線の影、すなわち臓器の「かたち」を画像化する検査です。PET/CT装置はPETとX線CTを連結した装置で、くすりを投与後に、X線CT画像とPET画像を撮影します。PETで「はたらき」をX線CTで「かたち」を画像化し、両者を組み合わせた情報が得られます。



画像操作室

## 検査の注意事項

- 1 検査前4時間は絶飲絶食してください。  
【糖分を含まない水分、水／お茶は摂取可能です。】
- 2 前日、当日の運動は避けてください。  
【運動すると骨格筋へのFDG薬の集積が増加します。】
- 3 PET検査前数日はバリウムを用いるX線透視検査を避けてください。  
【バリウムはCT画像に影響を及ぼし、画像の障害となります。】
- 4 検査後12時間は、放射線の影響を与える妊娠中の女子および10歳未満の小児との接触はなるべく避ける、または距離をとってください。

## 疑問

Q PET検査でわかるがんは？

A PET検査は、平成22年4月から早期胃がんをのぞくすべての悪性腫瘍の診断が健康保険の適用対象となりました。しかし、すべてのがんがわかるわけではありません。できる場所（臓器）と大きさによって見えないものもあります。

Q PET/CT検査の被ばくは？

A 放射線を出すくすりを注射してPET検査を1回受けるとおよそ3.5mSv（ミリシーベルト）になります。（PET/CTの場合は、8.5～24mSv程度）検査により急性の放射線障害が起きる可能性はいっさいありません。また、将来のがんの発生の可能性はほとんどないといわれています。

参照：日本アイソトープ協会、日本核医学会出版の冊子



PET検査

リハビリテーション

## 作業療法(OT:Occupational Therapy)の紹介

～日常生活動作を支援するリハビリテーションの専門職です～

### ■ 作業療法士 (Occupational Therapist) とは

作業療法士は病気等の障害により、生活が行いにくくなつた患者さまに援助を行います。障害があつても残された機能を最大限活用し、身辺動作や家事動作、仕事への復帰をめざした訓練を行い地域社会への早期復帰に働きかけています。



松田

羽床

熊野

### ■ 作業療法士の仕事内容

#### 1) 身体機能への働きかけ

- 手術後に関節が固くならないよう手を動かし、脳血管障害の麻痺などで動かしにくい手足の機能を再獲得する訓練をします。



作業療法士



#### 2) 日常生活動作の再獲得・支援

- 食事・着替え、買物・調理・掃除・洗濯などの動作の再獲得をめざした訓練や、ご家族への介助方法の指導、職業復帰への支援も行います。

#### 3) 住環境への支援

- 患者さまの状態に合わせて、手すりの設置などの住宅改修等、必要に応じて家屋を訪問し助言を行います。また、ポータブルトイレなどの福祉用具についても生活が円滑に送れるように選定し、ご紹介します。

#### 4) 心・余暇への支援

- 入院生活の中で気分が落ち込むことがあります。手工芸等を行い精神的に安定した入院生活が送れるよう援助します。

#### 5) 高次脳機能面への働きかけ

- 脳血管障害の後遺症などで注意力や記憶力が低下し日常生活動作の手順が上手く行えない場合があります。症状を分析し日常生活が円滑に送れるように動作訓練を行います。

### ■ 作業療法士について

現在は3名体制で松下記念病院の入院、外来患者さまのリハビリテーションを行っています。靴下が履き難い、浴槽がまたぎにくい、生活で使う道具が使いにくいなど生活で何かお困りのことがあればお声かけください。

# 3Dエコー装置

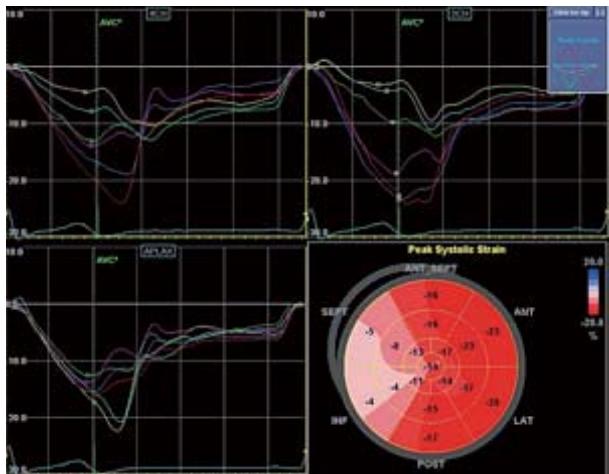
不安な気持ちで検査に来られる患者さまが「健康で元気でありたい」その為に「正確な検査をしてほしい」「少しでも早く安心したい」等のお気持ちは、今も昔も変わりはありません。

今般、当院では『心臓・下肢血管・腎動脈』の超音波検査に使用する装置としてリアルタイム3Dエコー装置（GE社製・vividE9）を導入し新しいエコー診断に取り組んでいます。この装置は心臓の構造、形態をそのままに再現し、瞬時に観察部位の解剖や機能を立体認識できる三次元画像による心エコーの検査が可能となり、定量評価（良い悪いのみではなく段階やレベル）の提示ができるようになりました。

今後は、より実用的であらゆる疾患への応用が期待されます。

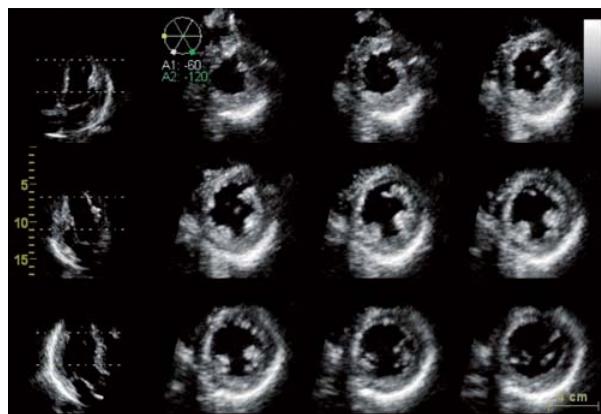
たとえば画面右のブルズアイ表示では、正常領域は赤く、壁運動低下領域は薄いピンクで表示されます。

本症例では右冠動脈領域の虚血の可能性が考えられます。



2D speckle tracking（目視診断から定量評価へ）

また、同一心拍での多断面同時表示（左図）や、リアルタイムフルボリュームの表示（右図）により4Dでよりリアルに評価することも可能です。今後は臨床において、従来の二次元エコーに取って替わる技術としてより正確で迅速な検査が提供でき、臨床のお役にたてるものと考えています。



（松下記念病院 生理検査室）

## 理念

松下記念病院は最高の医療と、患者さまに満足していただける安全な医療の提供につとめます  
さらには医の高い倫理性や人間愛を尊重した医療をめざします

1. 患者さまやご家族に信頼される安全で質の高い医療を提供します
2. 患者さまに満足していただけるホスピタリティを提供します
3. 地域医療連携と救急医療を推進し、地域貢献・社会貢献をめざした医療を行います
4. 将来を担う医療人の育成につとめます
5. 働きがいと誇りを持てる職場環境を整備し、それを患者さまの満足につなげます

## 医療安全宣言

私たち松下記念病院の職員は、医の倫理にもとづき質の良い医療を提供するとともに、医療の安全を確保することに努めます

1. 生命・健康が守られるべき病院において安全な医療を提供することが最も重要であると考え、組織の一員として自分の役割を十分に認識し、医療の安全対策に積極的に取り組みます
1. 安全な医療を提供するために職員それぞれが確固とした倫理観にもとづき、患者さまの安全を最優先に行動し、医療への信頼を高めます
1. 安全で快適な医療を提供するために現実的かつ合理的に決められた手順や規則を守るとともに、療養環境や作業環境を整え、それら必要な見直しや改善に努めます
1. 患者さまと相互の信頼や協力関係のもとに、患者さまが主体的に医療に参加していただくことが医療の安全性を高めるものと考えます
1. 医療の安全と信頼を高めていくために医療の見直しを進めるとともに、患者さまの権利を守る体制を整備し、医療の「安全文化」を根付かせていくよう努力します

## 患者さまの権利と責務に関する宣言

松下記念病院は、患者さま中心の医療を積極的に推進するため、患者さまの基本的な『権利と責務』を明確にして、患者さまが自らの医療に主体的に参加できるよう以下のように宣言します

1. 良質な医療を公平に受ける権利と自分の健康情報を正確に提供する責務
  - ・どのような病気にかかった場合でも、誰もが良質な医療を公平に受ける権利がある
  - ・個人の人格が尊重され、医療提供者と相互協力関係のもとで医療を受ける権利がある
  - ・良質な医療を実現するため、医療提供者に自身の健康に関する情報を正確に提供する責務がある
  - ・適切な医療を受けられるように、他の患者さまの治療や病院職員による医療の提供に支障を与えないように配慮する責務がある
1. 十分なインフォームドコンセント(説明と同意)のもとに医療を受け、治療方法などを選択する権利と、理解するまで問う責務
  - ・自分が受ける治療や検査に関してその効果や危険性、他の治療方法の有無などについて、解りやすく納得できるまで説明を受け、自己決定する権利がある
  - ・説明を受けてもよく理解できなかったことについては、十分理解できるまで質問する責務と、セカンドオピニオンを聞く権利がある
1. 自分が受けている医療について知る権利
  - ・自分が受けている医療(治療終了後も含む)について、説明や診療記録の開示を求める権利がある
1. 個人情報の保護を受ける権利
  - ・診療の過程で得られた個人情報の秘密が守られる権利がある
  - ・診療の過程で明らかとなった情報は、承諾なしに第三者に開示されない権利がある